

Dance Dance Dance

ダンス

ダンス

ダンス



JDSF 日本スポーツ協会
正加盟記念式典・祝賀会

新型コロナウイルス問題
ダンス界の未来に向かって...

東京都シニア・コミュニティ交流大会TOKYO



公益社団法人
日本ダンススポーツ連盟
Japan DanceSport Federation

2020 No. 95



来たとき よりも キレイに!

世界に示す、クリーンジャパン



KEEP EVERYTHING
MORE BEAUTIFUL
THAN IT WAS.

Show the world, CLEAN JAPAN!



JAPANESE OLYMPIC COMMITTEE
公益財団法人 日本オリンピック委員会



新型コロナウイルス問題 ダンス界の未来に向かって..



公益社団法人 日本ダンススポーツ連盟 専務理事 山田 淳

新型コロナウイルス感染症問題は、現在のグローバル化した世界経済や文化・スポーツ活動を直撃し、想像を絶する大きな被害となっています。

感染爆発を防止するために、大型の文化・スポーツイベントの自粛が求められ、JDSFでは準備万端整った東京オープンを中止しました。



この後始末に奔走する最中に、外出自粛要請、緊急事態宣言の発令など経済活動が麻痺する異常事態となり、JDSFでは3月以来、都道府県連盟の競技会を含めてほぼ全ての競技会ほか集会を自粛している状況です。

社交ダンスについては、サークル活動も教室経営も競技会も全て屋内で行なわれていること、ペアで楽しむこと、指導に当たっては指導者が濃厚接触を繰り返すこと、特にパーティなどは不特定多数の接触を想定していることなどから、条件が比較的厳しいものと考えられます。

現在、JDSF本部会議、委員会活動などは全てオンラインで実施しており、事務局のテレワーク制度の導入と、業務量に応じた休業体制によるコスト圧縮を実施しています。また、定例総会、全国加盟団体代表者・正会員会議の延期とともに、これらもオンライン参加を主とする方式とすべく準備に入りました。

主要イベントの開催

この状況に鑑みて、5月5日開催の臨時業務執行理事会では、9月に予定されている北海道と、仙台のダンススポー

ツグランプリの中止を決定しました。

しかしながら、11月21日～22日に予定されている三笠宮杯全日本選手権については、状況が許せば、全力であるゆる安全対策を検討して(たとえ無観客となったとしても)、何とか実施する方向で入念な準備に入ることになりました。

今後の事業回復に向けた努力

さて、感染防止策の長期化の可能性に対して、感染症が解決するまで私たちは「じっと待つだけ」で良いとは考えられません。健康増進のためにダンスを愛好している方については、体力が衰えてしまう可能性もありますし、選手の皆さんのメンタルを含めたコンディションの維持も重要です。また、私たちの事業を自粛し続けることによるダンス業界全体に与える被害が大きすぎます。

この対策として、ダンスに関する新たな形での価値の提案・提供を検討する、新サービス検討ワーキンググループを立ち上げました。ここでは、既存のパラダイム^{※1}に捕らわれない「新たなダンスの楽しみ方」についても検討し始めています。

従来、全国で研修会や競技会が頻繁に開催されることが当たり前の日々となっていました。これらのイベントが止まっている今、音楽への反応、ボディでの感情表現、コミュニケーションなど、ダンスの本質に立返って今できること、今しか考えられないような違った楽しみ方もあり得る事が分かってきました。

ブレイクダンス(ダンススポーツ・ブレイキン)については、三笠宮杯全日本選手権の前に予定されている、全国6ブロックの選手権を、オンラインバトル方式で実施する方向で準備に入っています。

スタンダード、ラテンなど、社交ダンスについては、緊急事態宣言の中でも実施可能な、オンラインによる「場」の提供やコミュニケーションのあり方についての検討、制限緩和段階(withコロ

ナ段階)でもできることについて、新たなサービスの検討に入りました。また、従来型ダンス・イベントの早期実施を目指すための徹底した安全対策のあり方についても再検討に入りました。

ダンスの魅力とコミュニティの力

JDSFは、もともとダンスを愛する人のコミュニティによって形作られてきました。私にとって、ダンスは人生を豊かにしてくれる「かけがえのない存在」であり、ダンスを通して多くの素晴らしい仲間が与えられました。

この喜びを多くの人に伝えたい! 自分が愛するこの素晴らしいダンス文化を、先人が築いて来てくれたことに感謝しつつ、恩返しのため、より良い形で次の世代に引き継いで行きたい。そう思って活動してきました。

一緒に活動している会員には、同様の思いの人がたくさんいることが励みであり、活動の輪の中で刺激しあい、高め合って進んでいることを幸せに感じています。

特に、今回の感染症問題という「未知との遭遇」ともいえる困難なハードルに対して、力を合わせて乗り越えようという若い世代の人たちの輪が広がっていることに感謝しています。こういう輪を大切にしながら、新しい感覚による新しいサービスの可能性も含め、ダンス界の未来に向かって進んで行ければと思っています。

これまで、人生最高の楽しみとしてダンスを続けてきた方、ボランティアでダンスの普及に貢献している方、選手や指導者として活躍している方、ダンス関連ビジネスに従事している方、このような全ての皆様のご健康を祈念致しますとともに、離れていても心は一つ…、皆でこのハードルを乗り越えて行きましょう。

※1パラダイム:ある時代や分野において支配的規範となる物の見方や捉え方

東京オープン2020の他、 3月、4月、5月、6月、すべての競技会中止！ さらに事務所も休業となりました。

新型コロナウイルスの感染は世界に広がり、5月10日現在の感染者数は400万人を超え、累計死者数は28万人に達しようとしています

日本も5月20日時点で、感染者数は1万5千人を超えました。国内の死亡者は633人に達しました。47都道府県のうち、岩手県は、唯一感染者はゼロをキープしています。

コメディアン志村けんさんが、新型コロナウイルスによる肺炎が原因で、3月29日に亡くなりました。人気お笑いグループ「ザ・ドリフターズ」で大活躍、テレビのバラエティー番組などにも出演して国民的人気を集めた志村けんさんが亡くなり、新型コロナウイルスの重大さに思い知らされた人も大勢いたといわれ、日本国内の空気も一変しました。

緊急事態宣言

政府は4月7日、新型コロナウイルスの感染が都市部で急速に拡大している事態を受けて、安倍総理大臣は、政府の対策本部で、東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都県を対象に「緊急事態宣言」を行いました。さらに、16日には、北海道、茨城県、石川県、岐阜県、愛知県および京都府の6道府県についても、新たに「特定警戒都道府県」として、安倍首相は全国民に不要不急の移動自粛を呼びかけ

ました。当初は5月6日期限でしたが他の県も含めて5月31日まで延長となりました。

但し、緊急事態措置を実施する必要がなくなったと認められるときは、期間内であっても速やかに緊急事態を解除する、としているが予断は許さない状況にあります。

「緊急事態宣言」発令による業務休止に関するご案内

公益社団法人日本ダンススポーツ連盟では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策としてテレワーク制度を導入し、事務局内の人員を制限して業務を行って参りましたが、全国的な「緊急事態宣言」の発令を受け、さらなる感染拡大防止への社会的責任、人命を第一に考え、4月21日(火)から5月31日(日)まで、事務局(会員サービスセンター含む)を一斉休業とさせていただきます。

なお、今後の社会情勢を踏まえ、業務再開時期等について変更が発生する場合は、公式ホームページ等でご案内させていただきます。

私たちに、今できることは“STAY HOME”です。

トリキンの燕尾服ラインナップ(新価格)

軽量速乾

人気急上昇!トリキンの「ジャストフィットエンビ」

- ラインがシャープで体にフィットし踊りやすい!
- 軽量なのにバランスが真つすぐ水平に保て、安定感抜群!

三輪嘉広先生

¥145,000+税

ゴールデンフィットエンビ

美しいシルエットを追求!
さらに進化した光沢シャドーストライプエンビ。
プロも絶賛したスリムエンビを是非一度お試しください!

No.50070
サイズ YA体・A体・AB体

新価格
~~¥178,000~~ ¥153,000+税

キレのあるストライプでスマート感を演出

No.50018
『天空の舞』

新価格
定価 ¥155,000 ¥130,000+税

発汗・速乾に優れた機能性抜群の最軽量ストレッチエンビ

ジョーゼット(ウルトラブラック) 驚きの薄さ

No.50050
『王者の舞』

新価格
定価 ¥150,000 ¥125,000+税

高品質を保ちながら低価格に抑えた普及版
初めてエンビ服を購入される方にお勧め!

黒無地

No.50030
『賢者の舞』

定価 ¥110,000+税

※上記エンビ服は、エンビ服上下・カマーバンド・ポケットチーフ付の価格です。



東京・秋葉原 東京トリキン(株)

エンビのトリキン

TEL.03-3866-4854 FAX.03-3866-4033

〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-4-1 <http://www.torikin21.com>

営業時間/月~金 10:00~18:30 土日祝 10:00~17:30

(公財)日本スポーツ協会 正加盟記念式典・祝賀会

2020年2月2日(日) 京王プラザホテル コンコードボールルーム

日本ダンススポーツ連盟の歴史に、確実な一歩を刻んだ日本スポーツ協会正加盟を記念し、関係各位とともにその喜びを分かち合う記念式典・祝賀会が開催されました。

当日は祝宴に先立ち、JDSF・PD関東甲信越ブロックの、昨年に続く第2回のPD祭が華やかに行われていました。その余韻漂うなか、17時の祝宴オープンをめざすお客様たちの表情も晴れ晴れしく、会場は次第に次第に暖かい雰囲気になっていきました。

中央のダンスフロアを囲むように配置された16席のテーブルでは、それぞれにお客様がたのしみな会話の渦が広がります。

17時30分、祝宴の実行委員長を務める金子和裕常務理事の開会の挨拶とともに、4組のJDSFジュニア強化選手(ブルボンDST)によるオープニングダンスパフォーマンスによって、祝宴がスタートしました。

オープニングに続いては、主催者を代表して齊藤斗志二連盟会長による挨拶。JDSF永年の目標だったスポーツ協会正加盟などの追い風をうけ、今後ますますダンススポーツの振興に注力する抱負を語りました。続いて、日本スポーツ協会の森岡裕策常務理事、日本オリンピック委員会中森康弘強化部長からそれぞれ祝辞をいただき、最後にご来賓を代表して(株)ブルボン代表取締役の吉田康社長の祝辞が会場を沸かせました。

続いて行われたのが、ダンススポーツコーチ永年表彰です。日本人の生涯を通じた快適なスポーツライフ構築に寄与する日本スポーツ協



多くの花が届けられ暖かい祝福の気持ちにあふれた記念式典・祝賀会会場



実行委員長・金子和裕常務理事の開会挨拶



喜びと新たな使命感を語った齊藤JDSF会長の開会挨拶

ご来賓



吉田康(株)ブルボン
代表取締役社長



森岡裕策(公財)
日本スポーツ協会常務理事



中森康弘(公財)
JOC強化部長

ジュニア強化選手(ブルボンDST)



ホワイトン謙心・
ホワイトン夏奈実組



山本壮真・
三喜真梨菜組



木下将希・
小西乙愛組



高橋海・和田享華組



代表して表彰状を受ける吉川英司指導部長



会の公認スポーツ指導者制度に基づき、JDSFは2005年度から競技別指導者資格講習会を実施し、これまでに約450名の指導者を養成してきました。正加盟記念式典に際し、そのなかから10年以上に渡りダンススポーツ指導と指導者育成・組織化等に取り組まれてこられた方々への表彰が行われ、受賞者を代表して茨城県の吉川英司さんに齊藤会長から表彰状・記念品が授与されました。

式典はデモンストレーションへと続きます。18時から登場したのは、未来ダンスアスリートの3組、JDSF・GDのトップアスリート、小嶋みなと・盛田めぐみ組、大西大晶・大西咲菜組、五月女光政・五月女観佳組のダイナミックな踊りに会場は大いに沸きました。

記念祝賀会へと進んだ祝宴でも、さまざまに趣向を凝らしたダンスフロアでの演目が続きます。JDSF・PD優秀選手の方々への表彰などが行われ、次に登場したのは2024年のパリオリンピック正式種目候補ブレイキン。ブレイキン界を代表する世界大会「Battle of the year world final」で大会史上初の3連覇を達成した、世界トップのブレイキンクルー《THE FLOORRIORZ》のメンバー7人です。

たけなわの祝宴をさらに沸かせたのは、多数のJDSF・PDによるショータイムの多彩な演目でした。

趣向を凝らしたPDの演出は、3つのパフォーマンスの組み合わせ。まず、各PDが自分たち最良の踊りをみせる「ソロデモンストレーション」パート。独自の演出が映える複数カップルによる「フォーメーションダンス」では共通テーマをTrend Of The Time～時代の流れ～に採り、昭和・平成・令和の三時代を象徴する踊りが楽しめました。そして2組のバトル形式で会場にアピールする「デュアルメドレー」という贅沢な時間です。

未来ダンスアスリート



大西大晶・大西咲菜組



五月女光政・五月女観佳組 (フルボンDST)



小嶋みなと・盛田めぐみ組



感謝の挨拶小嶋みなと・盛田めぐみ組



世界No1のブレイクダンスショーを披露した《THE FLOORRIORZ》



PDによる「ソロデモンストレーション」「フォーメーションダンス」「デュアルメドレー」、多彩なショーパフォーマンスが会場を大いに沸かせた。

そして祝宴の最後を飾ったのは、チャンピオン・ソロデモンストレーションでした。関東甲信越ブロックチャンピオンのスタンダード：石原正幸・石原蘭羅組、ラテン：西村康宏・鳥尾綾香組に続き、登場したのは全日本ランキングチャンピオンのアレクシー グザー・太田吏圭子組でした。



PDチャンピオン・ソロデモンストレーション。石原正幸・石原蘭羅組、西村康宏・鳥尾綾香組、そして祝宴の最後を飾ったアレクシー グザー・太田吏圭子組の圧倒的なダンスパフォーマンス

JDSFの日本スポーツ協会正加盟を祝う宴の見事な終演となりました。



それぞれの表情も明るい祝宴参加後の記念撮影

JDSF日本スポーツ協会正加盟までの歩み概略

- | | |
|---------------|--|
| 1977 (昭和52) 年 | 全日本学生舞踏連盟・アマチュア全国選手会・社会人ダンス連盟の三者が一体となって日本アマチュアダンス協会 (JADA) が発足。港区社交ダンス協会が初の区体協加盟 |
| 1980 (昭和55) 年 | 日本アマチュア競技ダンス連盟 (LACD) が発足し、ICAD (現WDSF) の加盟団体となる |
| 1981 (昭和56) 年 | 第1回三笠宮杯開催 |
| 1983 (昭和58) 年 | アマチュアランキング制度を整備 |
| 1990 (平成2) 年 | 茨城県アマチュアダンス協会が初の県体協加盟 |
| 1992 (平成4) 年 | 東京都アマ連盟が都体協に仮加盟。94年正式加盟 |
| 1997 (平成9) 年 | ICADが国際オリンピック委員会 (IOC) 加盟 |
| 1998 (平成10) 年 | IDSF公認世界ダンススポーツ選手権日本開催 |
| 1999 (平成11) 年 | JDSF創設 日本体育協会準加盟 第1回東京オープン開催 |
| 2002 (平成14) 年 | 文部科学省の社団法人格取得 社団法人日本ダンススポーツ連盟発足 |
| 2011 (平成23) 年 | 内閣府の公益社団法人格取得 公益社団法人日本ダンススポーツ連盟発足 |
| 2019 (平成31) 年 | 日本スポーツ協会正加盟 |

田邊重光副会長



WDSF - PD名誉会員証

Mr. Tanabe passed away on February 29th

We all shall miss him.

Mr. Shigemitsu Tanabe, Honorary Member of the WDSF Professional Division Management Board, passed away on February 29th.

The members of Japan DanceSport Federation and all athletes and officials of WDSF, who knew Mr. Tanabe, are deeply touched.

With Mr. Shigemitsu Tanabe, the WDSF Professional Division does not only lose a good friend and promoter of DanceSport, but also an important sponsor of competitions and events in Japan.

WDSF News 06/03/2020

田邊重光JDSF副会長のご逝去を心からお悔やみ申し上げます。

(WDSF-PD名誉会員・前JBDF会長・田邊工業株式会社代表取締役会長)

2020年(令和2年)2月29日/永眠(84歳)

2016年6月の公益社団法人日本ダンススポーツ連盟(JDSF) 定時社員総会において理事・副会長に就任。2017年6月世界ダンススポーツ連盟(WDSF)総会において、長年のダンススポーツの普及・発展に及び日本のPD部門設立への尽力に対し、WDSFルーカス会長から会長賞が贈られ、WDSF-PD理事会の名誉会員に就任されました。

田邊重光氏は、2015年4月、公益財団法人日本ボールルームダンス連盟(JBDF)の安西孝之会長の辞任後、JBDF会長を務め、日体協加盟やオリンピック目指してアマプロ力を合わせて前進すべくIOC(国際オリンピック委員会)のIF(国際競技団体)であるWDSFやJOC(日本オリンピック委員会)に加盟するJDSFとも連携を模索されましたが、理念の相違から2016年4月にJBDF会長を退任。田邊氏の理念に同調しJBDFからJDSFに移籍された方々や前身のPDJ委員会メンバーと共にPD部門の本部長として設立、発展を推進されました。

本誌DDD81号の巻頭の中で、「ダンス界を去るつもりでいたところ、JDSFの皆さまから温かい励ましと強い期待のお言葉いただき、もう一度、私の余勢をダンス界のためにかけて、少しでも皆様のお役にたちと思えました。特に6月の総会では、私の副会長就任について、盛大な拍手をもって迎えていただいた時、全国の皆様の温かいお心を感じ、涙が止まらない思いでした。」と、述べられています。

そして2019年3月日本スポーツ協会(旧日体協)正加盟、2024年パリオリンピックにおけるダンススポーツブレイキンの追加種目確定にも大きな役割を果たされました。

ありし日の田邊重光JDSF副会長



2015年3月東京オリンピックダンススポーツ立候補決意表明



2017年6月、シンガポールで開催されたWDSF総会后、田邊JDSF副会長の長年のダンススポーツとPDの普及発展に対し、WDSFのLukas Hinder会長より会長賞が授与



JDSF総会にて



JBDF福川会長、WDSF-PDのピーター・マクセル終身名誉会長と

2019年度定例理事会

2020年3月1日(日)14時から、東京有明の日本ダンススポーツ連盟会議室において、2019年度JDSF定例理事会が開催されました。今回は、すでに一部で懸念の出ている新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応も意識した、ビデオ会議システムのZOOMを併用した会議となりました。

理事会開催に先立ち、前日の2月29日(土)、田邊重光連盟副会長が逝去されたとの報告があり、出席者全員が黙祷を捧げて、その冥福を祈りました。

定刻の14時、齊藤斗志二会長が理事会開会を宣言し、事前に配布された式次第に則り2019年度理事会が開始。議案審議に先行し、諸般報告の以下3内容が行われました。

諸般の報告

1. スポーツ庁委託事業と多賀啓弁護士との顧問契約
2. 役員・名誉役員の異動
3. 公益財団法人日本スポーツ協会正加盟記念式典

1. はスポーツ庁の「スポーツ団体ガバナンスコード」制定に基づく支援事業として、多賀啓弁護士が当連盟担当となり、3月1日付で法律顧問契約締結に至った説明。



逝去された田邊連盟副会長への黙祷



理事会の開会を宣言する齊藤斗志二会長



司会の岸尾政弘総務部長



ZOOMでの参加理事を含めた定例理事会参加メンバー

2. は、2020年2月29日田邊重光理事副会長、2019年11月5日清水康夫参与の逝去、2020年1月6日秋元司顧問辞任の報告。
3. は、2020年2月2日実施の日本スポーツ協会正加盟記念式典の実施報告でした。

その後、議案審議に移り、第1号議案：2019年度業務執行状況の報告と承認、第2号議案：選手・団体選考委員選任、第3号議案：組織改革と役職者変更及び職務分掌規定改正、第4号議案：2020年度事業計画及び予算、第5号議案：次回理事会と総会日程が審議され、それぞれ承認されました。

議事進行は報告事項に移り、報告事項1：第22回東京オープンダンススポーツ選手権中止の件、報告事項2：FISE HIROSIMA 2020大会の報告がおこなわれました。

以上で全議題が終了し、15時半は定例理事会は閉会しました。

2019年度全国代表者会議

2020年2月2日(日)、東京新宿の京王プラザホテル・グレースルームにおいて、全国代表者会議が開催されました。当日は17時から同ホテルにおいて、JDSFの日本スポーツ協会正加盟の式典等が予定されており、それに先立つ13時からの会議となりました。

定刻の13時、岸尾政弘総務部長の司会進行に基づき、全国代表者会議前半の第1部が開始されました。

前半の内容は5部に分かれ、その口火を切って、まず山田淳専務理事による「中長期計画と重点課題、JDSFの振り返りと未来への挑戦」の報告、続いて白井健太郎ブレイキン副事務局長からの「ダンススポーツ・ブレイキンについて」、金子和裕常務理事による「国体に向けた基本方針と今後の都道府県大会について」の報告へと進みました。

続いて各方面で重要性を指摘される昨今の個人情報保護の観点から、政策推進室の村上喜一郎法制専門員が「個人情報保護対策」、個人情報保護に関するレビューと各都道府県連盟における対応、とくに会員登録事務と競技会エントリー受付に関する実践的な注意点などを解説しました。

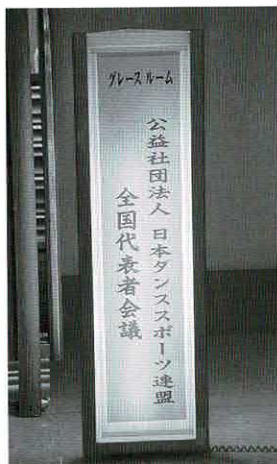
そこで議事は全出席者によるディスカッションへと進行し、埼玉県DS連盟高橋久雄会長から指摘のあった、他異種目ダ

ンスと10ダンスの協業事項に関して各地域ごとの特性に基づく意見交換など、会議出席者間における各種の情報交換が行われ、会議は休憩へと入りました。

会議後半は、スポーツ競技団体における「ガバナンスとコンプライアンス」についてのレクチャーが、多賀啓弁護士によって行われました。同弁護士は、スポーツ庁委託事業としての「日本スポーツ仲裁機構による中央競技団体(NF-National Federations)への支援」に基づいて、JDSF担当を委嘱され、国内各NFにおける同テーマへの関連活動と比較検討を挙げつつ、JDSFにおける今後の取り組みについての指摘などを行いました。

続いて今回の記念公演に登壇されたのは、日本オリンピック委員会(JOC)の中森康弘強化部長。「オリンピックとスポーツ団体の役割」と題した講演で、24年パリ五輪での追加競技承認が進むブレイキンと、JDSFの役割・可能性の大きさについて語られました。

以上をもって、当日の会議内容はすべて終了し、16時過ぎに定刻通りの閉会となり、会議出席者の多くが記念式典会場へと向かいました。



2019年度JDSF全国代表者会議



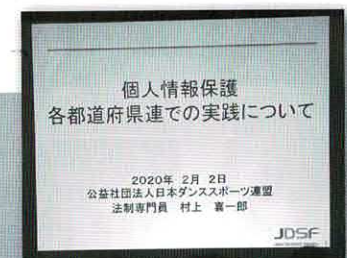
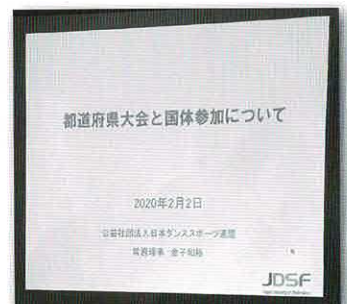
報告に立つ山田専務理事



白井ブレイキン副事務局長



JDSFの担当となった多賀啓弁護士



JOC中森強化部長の記念講演は大きな注目を集めた

今年度のブルボンDST所属選手です!
引き続きよろしくお願いたします。

ブルボンDST



五月女光政・五月女叡佳



木下将希・小西乙愛



高橋海・和田享華



山本壮真・三喜真梨菜



ホワイトン謙心・ホワイトン夏奈実

DSC神奈川フェスティバル 「ダンスと健康」

2020年1月4日(土) 神奈川県横浜市鶴見区民文化センター「サルビアホール」

2020年、新春の雰囲気もまだまだ盛りの1月4日、横浜市鶴見区民文化センター「サルビアホール」を会場に、神奈川県DSC主催のダンスフェスティバルが開催されました。新たな年を大好きな踊りで祝おうという多くの参加者で賑わう会場。楽しい時間のなかで、一瞬、ひととき大きな歓声を浴びたのが、フェスティバル第2部のトライアルに参加された一人の女性でした。

紹介されたのは、中山(旧姓高木)紀子さん、1972年のミュンヘンオリンピックにバドミントン選手として参加して見事金メダルに輝き、現在も日本バドミントン指導者連盟会長を務められています。

そんな中山さんが、しっかりと社交ダンスをはじめた切っ掛けはなんと悪性リンパ腫でした。

「2017年に悪性リンパ腫だということが分かりました。ステージ4という診断でした。ただ落ち込んでいてもしょうがないと抗がん剤治療を。たしかに辛くはありましたが乗り切ることができました。そんなとき、あらためて思ったのが『ダンスをやりたい』ということでした。

じつはダンスは以前からの憧れで、実際、習ったこともあったんです。でも、がんから立ち直って、しっかり踊れるようになりたい、という強い気持ちに気づいたんです。そんなときに出会えたのが神奈川DSCの川戸誠道先生。先生も脊柱管狭窄症からダンスで快復されたこともあり、私の希望に応じて練習、指導を引き受けて下さいました」

今回のフェスティバルでは、目に映えるイエローのドレスでワルツとタンゴを披露してくれた中山さん。

「憧れだったダンスがリハビリに役立つだけでなく、健康づくりや体力維持にも効果を上げています。それにやっぱり、ペアで音楽に乗ってひとつの踊りを創り出すダンスは、気分も高揚しますし晴れやかになるようです。いくつになってもワクワクできるのは本当に素敵だと実感しています」

オリンピック金メダリスト紹介で会場は一気に盛り上がりました。それからの時間、中山さんの周りにはダンスと会話の輪が途切れることなく、楽しく有意義なパーティはますます盛り上がることになりました。



軽やかなワルツのステップを踏む中山さん



タンゴの切れのいいリズムに気分が乗る



憧れの社交ダンスでリハビリと健康づくり
中山紀子さん(右)と指導者の川戸誠道さん(左)



DSC神奈川フェスティバル
第2部運営委員のみなさんとともに

「社交ダンス de 健康長寿！」 研修会

2019年12月21日(土) 東京都DS連盟派遣理事会

ダンスと健康②

「健康長寿ダンス」の普及で、日本人シニア層の健康寿命増伸を図る活動に取り組むのが、監事としてJDSFの活動を支える竹島弘幸神奈川県DS連盟相談役です。

世界有数の長寿国として知られる日本ではありますが、2018年で男性81.25歳、女性87.32歳という平均寿命の一方では、それぞれの健康寿命は2016年のデータでは72.14歳と74.79歳に過ぎません。

この「健康寿命」とは「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」、つまり自立して生活できる年齢ですから、日本人は男性が9年弱、女性では12年以上も介護等の補助を受けながら最晩年を過ごすこととなります。そこでダンス未経験の高齢者層に社交ダンスを広めることで、この健康寿命を延ばしていこうという活動が「健康長寿ダンス」にほかなりません。この取り組みは、すでに神奈川県横浜市DS連盟で実績をあげています。

2019年12月、竹島さんは東京都DS連盟定例の派遣理事会の場に、「社交ダンス de 健康長寿！」講師として参加さ

れました。行政と連携して、社交ダンスを「健康長寿ダンス」として普及させる活動を、地域のダンス指導者層にレクチャーする試みです。

その内容は「理論編」「実践編」「実技カリキュラム体験」となります。

まず「理論編」で、社交ダンスが認知症予防に効果的であるという研究成果紹介。愛知の国立長寿研究センターと東京都健康長寿医療センター研究所での調査結果が紹介されました。

つづく「実践編」は、行政との間での連携事業成立までを横浜市DS連盟の活動実績を例に紹介。それに基づく活動実績内容の解説が行われました。

最後に「実技カリキュラム体験」として、健康長寿ダンスのカリキュラムを参加者全員で体験しました。事前準備のラジオ体操から、二拍子足踏みから踊れるメレンゲへ。ダンス未経験者に向けた指導のポイントなどもレクチャーに加えられ、地域のダンス指導者層が中心だった当日の受講者にとって大いに有意義な体験となりました。



講師を務めた竹島弘幸神奈川県DS連盟相談役



真剣にレクチャーを受ける都連各地域理事たち



メレンゲを取り入れた実技指導/受講にも熱が入る



研修会受講者と講師の記念撮影



※「社交ダンス de 健康長寿！」研修会は会員拡大委員会事業として、2018年9月関西ブロック（大阪）、2018年11月東北ブロック（仙台）、2019年12月関東甲信越ブロック（東京）で実施されました。

東京都シニア・コミュニティ交流大会

TOKYO 縁ジョイ!

2020年1月27日(月) 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館



「TOKYO 縁ジョイ!」
大会総合
プログラムと
ダンススポーツ
版プログラム

日本では、現在は高齢化社会から高齢社会となり、現在は超高齢社会に突入しています。明るく豊かなものとしていくための取り組みのひとつとして、2020年から東京都が実施することになったイベント、「東京都シニア・コミュニティ交流大会・TOKYO 縁ジョイ!」が開催されました。

この催しは、シニア世代が日頃から親しんでいる趣味を通じて交流の輪を広げ、身近なコミュニティとつながるきっかけとするための種目別交流大会として行われます。参加資格は都内在住の60歳以上となっています。ダンススポーツは、そのスタートの年の実施競技として、他の囲碁、将棋、健康マージャン、カラオケの4種目とともに選ばれ、先陣を切って、ダンススポーツのメッカでもある駒沢オリンピック公園総合運動場体育館を会場に1月27日の実施となりました。

開場の10時を待たずに多くのエントリー選手が詰めかけ、ドアオープンとともにスタンダードとラテン競技による団体戦の準備が始まります。競技内容は、午前中が1チーム4組が4種目(ワルツ・タンゴ・チャチャチャ・ルンバ)の合計点を競う団体戦。午後は個人戦で、ラテン(チャチャチャ・ルンバ)とスタンダード(ワルツ・タンゴ)となっています。この個人戦はラテン・スタンダードそれぞれ、初級・中級・上級の3カテゴリーに分かれ、団体戦と合わせて合計7ジャンルでの競技開催となりました。

11時の開会式には、小池百合子東京都知事と各来賓の方々の前を、燕尾服・ドレスのスタンダード選手、華々しく艶やかな衣装のラテン選手たちという団体戦出場チームによる入場行進。小池都知事による開会の挨拶によって午前の部がスタートしました。



開会を祝う小池百合子都知事 小池知事と縁ジョイ・サポーターの草野仁さん

競技ダンスの技能を競うことを目的とした競技大会とは異なり、コミュニティ交流に主眼を置いた大会だけに、アマチュア・ゲスト2組やトップ・プロと同アマチュアの計3組のデモンストレーションが楽しめるなか、エントリー32組が競い合う団体戦が火花を散らしました。午前競技終了、表彰式に続いては、縁ジョイ・サポーターの草野仁さんも参加したライン&カントリーダンス講習会。再度のデモンストレーションと出場各選手が自由に相手を変えながら踊りを楽しむダンス交流会を挟んで、午後の部の個人戦はラテン競技からスタートです。競技終了後のフロアではやはりデモンストレーションとダンス交流会、続いて交流大会は、最後の種目である個人戦スタンダード競技へと進みました。

11時過ぎから繰り広げられた全競技は16時過ぎに最終種目を終了し、個人戦ラテン、個人戦スタンダードの初級・中級・上級の表彰式。さらには、出場最高年齢賞、ベストカップル賞などの各賞表彰が行われ、ダンス競技に明け暮れたコミュニティ交流大会は、成功裏に幕をおろしました。



団体戦出場チームによる入場行進と開会式



ゲストダンサーによるデモンストレーション。
劉華・小林彌壽枝組(左)とロペス・村主章枝組

デモンストレーターには大西大晶・咲菜組、
山本武志・木嶋友美組、
海老原竜太・須田美咲組(左から)

縁ジョイ・サポーターの
草野仁さんも参加したライン&
カントリーダンス講習会

団体戦ラテンと団体戦スタンダード競技



団体戦優勝「ウィナーズ」



準優勝の「レッツ世田谷」



第3位「文京ダイヤモンド」

個人戦の表彰式入賞者

Latin

Standard



上級



上級



中級



中級



初級



初級



出場最高年齢賞、ベストカップル賞など、各賞の表彰カップルたち



大会役員・運営スタッフの皆さん

※2021年「TOKYO 緑ジョイ！」には再びダンススポーツが選ばれ、2021年1月24日(日)、同じく駒沢オリンピック公園総合体育館で開催される予定です。

